

《企業紹介》

同社は 1993 年、ベトナム政府が民間資本による銀行設立を解禁した際に誕生した、民間銀行としては最古参の大手商業銀行で、税前利益は上場銀行中 8 位(2025 年 12 月期)となっている。厳格な融資姿勢と経営の透明性で知られ、2025 年 12 月末時点の貸出に占める不良債権の比率は 0.97%と上位 10 行平均の 1.93%を大きく下回っている。このような健全な財務状況と高い経営の透明性が、特に外国人投資家に高い評価を受け、2026 年 6 月末の外国人保有比率は 25%と上限の 30%にせまっている。

個人や中小企業向け融資に強みがあり、クレジットカード、バンカアシュアランス（保険商品の窓口販売）、証券サービスなどでも高い競争力を保持している。ベトナムの中産階級の増加に加え、住宅需要の回復、道路整備の進捗に伴う自動車需要の増加など、事業機会の拡大期待が高まっている。

《2026 年 4—6 月期業績》

2026 年 4—6 月期の営業収入は前年同期比 1.6%減の 9.1 兆 VND（ベトナムドン）だった。貸出債権残高が同 17.5%増の 737.6 兆 VND に増加したうえ、預貸利ザヤが前年同期で改善に転じたため、金利収入は同 16.5%増の 7.7 兆 VND となった。預貸利ザヤの改善要因は、資金調達コストの上昇を上回る貸出金利の引き上げを達成できたことが挙げられる。設備投資や住宅投資の拡大により依然として貸出需要は強く、調達コストの上昇の受入れが進んでいるようだ。また、手数料等収入は費用の削減が進み同 41.2%増の 8,254 億 VND と大幅に増加した。一方、その他収入は外国為替売買益の大幅な減少、投資有価証券の売買損益の赤字転落などが影響し、同 73.7%減の 5,328 億 VND に落ち込み、営業収入全体の足を引っ張った。

営業費用が同 0.7%減の 2.7 兆 VND と営業収入の減少ペースを下回る減少だったことに加え、貸倒関連費用が同 129.0%増の 1.0 兆 VND と大きく増加した結果、税前利益は同 11.9%減の 5.3 兆 VND となった。純利益は同 12.1%減の 4.2 兆 VND だった。表面上は減収減益の決算だが、貸出債権残高を増やしながら前年同期比で預貸利ザヤの改善が達成されるなど、収益力の強化が着実に進んでいる点は高く評価できるだろう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	9,292.5	7.4	8,384.7	3.1	8,206.0	-4.1	8,904.7	12.5	9,142.9	-1.6
(うち金利収入)	6,683.8	-6.0	6,769.7	-1.6	7,093.3	0.2	6,989.2	9.9	7,784.7	16.5
(うち手数料等収入)	584.7	-33.4	795.4	6.5	894.3	2.9	992.9	13.8	825.4	41.2
(その他収入)	2,024.0	205.3	819.5	61.5	218.5	-64.1	922.6	35.0	532.8	-73.7
営業費用	2,736.2	11.0	2,713.9	-7.5	2,782.4	1.6	2,850.5	5.9	2,715.8	-0.7
貸倒関連費用	463.0	-21.3	288.9	-19.3	1,956.6	1,225.0	686.0	9.6	1,060.2	129.0
税前利益	6,093.3	8.8	5,381.8	11.1	3,467.0	-38.9	5,368.1	16.8	5,366.9	-11.9
純利益	4,881.2	9.2	4,280.6	10.6	2,784.7	-38.7	4,320.4	17.5	4,292.5	-12.1
貸出債権残高	627,669.4	15.4	663,032.4	20.9	679,152.6	18.3	701,211.8	18.4	737,694.0	17.5
貸倒比率(年換算、%)	0.3	-	0.2	-	1.2	-	0.4	-	0.6	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260728

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

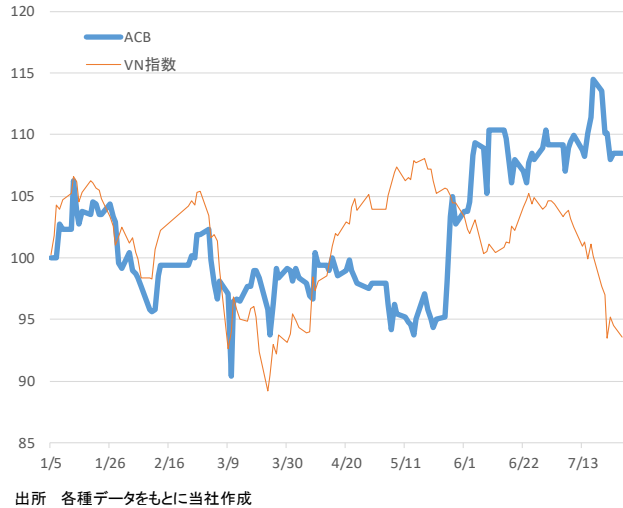
アジアコマーシャル銀行(ACB)



《株価の推移》

同社の株価と VN 指数の 2025 年終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は年初から 5 月中旬にかけて VN 指数をアンダーパフォームしていた。しかし、5 月下旬以降、VN 指数の下落傾向に対し、同社の株価は上昇トレンドをみせ始め、6 月中旬以降はアウトパフォームに転じている。7 月 27 日終値時点で VN 指数が 2025 年末比 6% の下落となっているのに対し、同社の株価は 8% の上昇となっている。7 月 27 日終値 22,300VND で計算した時価総額は 129.4 兆 VND で、これは 2025 年 12 月期実績純利益 15.6 兆 VND に対して 8 倍となっている。

図表2 株価推移



預貸利ザヤの前年同期比改善が継続的に確認でき、金利収入の前年同期比増減率は 2025 年 4—6 月期の 6.0%減、7—9 月期の 1.6%減、10—12 月期の 0.2%増、2026 年 1—3 月期 9.9%増、4—6 月期 16.5%増と増加ペースが加速している。このようなファンダメンタルズの改善持続が同社の株価パフォーマンスの向上に貢献していると考えられる。ベトナム経済の成長加速により、貸出需要の拡大が見込めることから、預貸利ザヤの改善が同社の利益成長期待を高めることも期待できるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260728

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。